

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690300159
法人名	株式会社 ケイシン
事業所名	グループホーム ことぶき太陽の家
所在地	鹿児島県鹿屋市笠之原町2695-1 (電話) 0994-40-9635
自己評価作成日	平成22年10月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成22年10月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然に囲まれた静かな環境で、理念の中に掲げている「入居者の立場にたった介護」を目標に、日々のケアに取り組んでいます。笑顔で毎日を楽しみ過ごしていただくために、いつも職員が笑顔で支援できるように努めています。生活の中で役割を持って頂いたり、お互いが協力し合い助け合いながら思いやりのある生活が続けられるように心がけています。また、家族との関係を大事にして、面会の際にはゆっくりと過ごして頂くように配慮しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・自然環境に恵まれた、季節を肌で感じ取れるホームである。
- ・職員は「利用者と同じ目線で否定しないケア、笑顔でまず対応する事に心がける」をモットーに、利用者と共に日々の暮らしを支援している。
- ・歩行困難な利用者が、自立歩行ができるようになるとともに、排泄の自立もでき、本人や家族等から喜ばれている。
- ・地域との交流推進を図るため、ホームとして地域行事に率先して参加している。
- ・利用者や家族・地域との密接な関係づくりが構築されている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	見えやすい位置に理念を掲げ、いつでも確認し意識できるようにしている	グループホームの意義と役割、地域で暮らし続けるための理念を職員の意見と、法人の基本理念を集約して作成している。また、ホーム独自の目標理念を掲示し、職員の意識付けに努め、日々のケアに活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	・地域のボランティアの方や保育園児が定期的に来苑し交流を図っている ・町内会に加入し、地域の行事には利用者と共に積極的に参加している	町内会に加入して、回覧板を利用者と共に近隣へ届けたり、町内会行事に参加している。中学生の体験学習や保育園児の定期的な訪問等、ホームと地域住民との交流がなされている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	中学生の体験学習、ボランティアの受け入れ、見学者への説明を行っている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の中で入居者の生活の様子や活動報告を行っています。台風や火災、地震時の避難訓練の様子・反省点を報告し情報交換や助言を頂、改善に生かしている	行政・住民代表・家族代表・他グループホーム職員・見識者の参加を得て、定期的に開催している。災害時の協力者名簿作成やホームを避難場所として地域住民に提供する案など、貴重な意見が出され、会議がサービス向上に活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の担当者とは連絡を密にとり、相談事などは市役所へ出向き、助言を頂いている	ホームの取り組み状況や利用者の暮らしぶりを相談・報告しながら助言等を得ている。また市の研修会に参加したり、ホームの夏祭りに市職員の参加があり、共にサービスの質向上に取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束についての勉強会を年に2回は行っている。また毎月「身体拘束禁止管理表」にてチェックを行い、廃止にむけて取り組んでいる	13項目からなる「身体拘束禁止管理表」を設けて、毎月ミーティング時にチェックしている。また、勉強会を定期的に行い、職員の意識向上に努め、拘束のないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止関連の研修を受け、勉強会にて伝達し、職員に意識付けを行っている。日頃の職員の言葉掛けやケアの方法について気付いたときは話し合い、自分自身も振り返り反省するようにしている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度を利用されている入居者がおられることもあり制度について定期的に勉強会を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には事業所のケアに関する考え方や取り組み、事業所の対応可能な範囲について説明し家族も納得の上で入居していただいています</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱を設置しています。家族の面会時には、意見や要望をきくように努め、家族からの要望があった時は、職員間で共有し、介護に反映できるようにしている</p>	<p>相談窓口の明記や意見箱の設置のほか、ホーム便りや通信を出したり、来訪時に家族から意見を聞くなどしている。本人や家族・職員で話し合いながら、意見や要望に対して運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員の意見については、毎月のミーティングや日々の業務の中で聴き、問題があれば其の都度話し合いを行っている</p>	<p>代表者や管理者は、毎月のミーティング時や業務時に職員と話し合う場を設けて、業務体制や利用者のプラン作成などを話し合い、意見や悩みを聞いている。それを運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>働きやすく居心地の良い環境作りに努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部・外部研修に参加し、質の向上に努めている。資格取得を推進している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の他のグループホームの運営推進会議に参加し、意見交換等を通じてサービスの向上に活かしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に来ていただいたり、わからないときがある時などは、電話などで解決していただくなどの対応を心がけている。又安心した雰囲気作りや信頼関係を築く努力をしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談には十分な時間をもうけ、話し合いの時にはわかりやすい言葉で伝えるように心がけている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の際にご本人、ご家族と良い雰囲気の中話し合い、その時の状況を確認し、その方のニーズに沿ったサービスを受けられるように配慮している		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は介護ケアするという一方的な考えをもち、この時を同じ空間で共に支えあう者同士と考え接している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の日常の様子を手紙・電話で、家族の来訪時は細かなことでも伝え、家族と職員が同じ方向性になるように努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅へ帰る機会をつくったり、家族と外出・外食などしていただいている。知人・友人など来訪時は、楽しい雰囲気でお話できるような配慮している	自宅訪問や外食・花見・近くの商店への買い物などのほか、友達や知人への来訪呼びかけや知人宅への訪問などの支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の出来ること・出来ないことを職員が把握して、利用者同士支え合って生活が送れるよう支援している。又不穏な雰囲気を察したら、さりげなく当事者たちを別の行動へ誘導し、気分をかえるようにしている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約を終了しても会う機会をもうけたり、近況を聞かせていただいたり、できるだけ関わりが継続出来るよう心がけている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご自分の思いを表現しづらい方についても、表情やその方なりの訴えなど色々な面から得られることを手がかりに気持ちを把握し、職員間で共有している	利用者一人ひとりとゆっくり話し合いながら、本人の言動や表情・サインを細かく把握している。また、職員間の情報交換を密にして、利用者が自由に表現したり、自己決定ができる環境づくりに努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にこれまでの暮らし方を確認し、入居後も利用者に話を聴いたり家族や親類等の面会時に少しずつ聞き取り把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の中でも変化する状態を見逃す事のないよう現状の把握に努め、その都度的確に対応できるようにしている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の関わりの中で得た情報を共有し、利用者や家族の何気ない一言が的確な支援へとつながることも多く、すべての関係者が意見を出し合える関係を第一に考え、カンファレンスにつなげ介護計画に反映させている	個別記録や日誌にケアの実践や結果・気づきを記録して情報を共有している。また、毎月、カンファレンスを行い、本人や家族・必要な関係者の意見を反映した、本人本位の介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活や行動など記録し、申し送り・ミーティング・日誌などを通じて情報交換しながら実践につなげている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の希望を考慮しながら、外出や受診の支援に取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地区の公民館で敬老会があり数名が参加しました。とても楽しんでいらっしゃいました。また、近くのスーパーに買い物に行ったり地域での暮らしを楽しんでいる		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は入居時本人や家族と話し合い意向を聞き、それに沿うように支援している	本人や家族等が希望しているかかりつけ医の受診が継続できるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	看護職員と常に連絡体制はとれるようにしている。看護師が不在の日もあるため日中の状態や疑問に思うところなど、書面にて情報交換をおこなっている		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時は入院直前の状況を情報提供し、入院中は職員が面会に行き、早い段階で主治医・師長・家族・ソーシャルワーカーと管理者が退院に向けての話し合いを持つようにしている		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	看取り及び重度化に関する指針を作成しており、入居時に説明し、支援方針について同意を得ている。また重度化した場合、ホームでできる対応について、家族・後見人と話し合い方向性を確認するようにしている	重度化や終末期に対して、家族や後見人・医師・看護師を交えて話し合いを行い、職員も共有している。看取り及び重度化に関する指針を作成し、家族等の同意書も得られている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	救命救急講習を定期的に受けている。緊急連絡網・緊急対応マニュアルを整備し、勉強会等で周知徹底を図っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災非常時対応マニュアルを整備し、年2回の消防訓練を行っている。訓練時には地域の方への参加の呼びかけを行っている</p>	<p>消防署の協力のもと避難訓練を実施している。通報装置・連絡網体制・訓練計画書・備蓄など完備している。地域住民の協力や呼びかけをホーム便り等でしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ひとり一人の物言わぬサインも見落とさないよう常に見守りをしてその方へあった対応、声掛けを心がけている	職員の意識向上を図るため、尊厳に対するケアのあり方を勉強会で研鑽している。また、日々の支援の中で課題にし、職員で話し合っている。常に利用者を目を向けるように心がけ、プライバシーを損ねないような声かけや対応に留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の思っていること、感じていることが可能な限り実現できる雰囲気作りを心がけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れでそれに沿った内容をこなしながらも個人のその日の状況・状態に配慮しながら対応している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人らしい服装、身だしなみができるように配慮しています 服装については一緒に考えたりそれが出来ない方には職員が選ぶようにしている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の個々の能力に合わせ、下ごしらえ、盛り付け、下膳、片付け等一緒に行っている 食欲のない利用者にはおかゆやゼリー類を取り入れ、個別に対応している	利用者の身体状況に合わせた食事形態、好みの献立を配慮しながら、下ごしらえや盛り付け・片付け等、役割をもって職員も一緒に食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分の摂取量についてはチェック表を用いて把握している。お茶の時間を設けて水分摂取につとめています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声掛けや個々の状態に応じた援助を行っている。義歯もその都度外して洗い就寝時には水につけて保管しています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のサインや時間を把握し、トイレ誘導を行い、トイレで排泄ができるように促している	排泄チェック表を作成し、排泄パターンを把握している。体操や腹部マッサージ・水分摂取・食材に配慮しながら、トイレやポータブルトイレ誘導に努め、自立支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維質の多い食事の工夫や水分摂取に心がけている。散歩や体操など身体を動かす活動に誘ったり、腹部マッサージを行い自然排便につながるよう取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入浴できる体制はとっており、拒否があれば順番を変えたり、声掛けの職員を変えたりと対応を工夫している 個々の体調に心がけ無理のないよう支援している	毎日入浴できる体制になっており、本人の希望や身体状況に合わせた入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の身体状況を考慮しながら支援を行い、必要に応じた休息をとれるよう心がけている。起床時間、就寝時間など特に決めず個々の生活リズムに合わせている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人別の服薬説明書はファイルされており、全職員確認できるようにしている。用法・用量に変更があった場合は、書面にて全職員の周知徹底を図っている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	負担に感じない程度に掃除・洗濯・台拭きなど、それぞれの方に合わせて家事をお願いしている。個々の趣味を活かし、手芸や歌・踊りなど楽しみの時間をもてるように配慮している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気を考慮しながら、なるべく散歩に出掛けるようにしている 初詣や花見、買い物やドライブ、食事会など季節に合わせて行き先を考慮し、楽しんでいただけるように支援に努めている	日常的な散歩などのほか、買い物や食事会・墓参り・自宅訪問・知人や友人宅訪問など、利用者の希望を聞きながら外出の機会作りを工夫して閉じこもらない支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個々のお小遣いの管理は、ホーム内で行っている。利用者によっては、ご家族と相談し小額を持っている方もいる</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ホーム内の電話を自由に利用していただいている。 毎月お便りを発行しており、一緒に写真などを同封してお渡ししている</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホール内に利用者と一緒に作った季節ごとの折り紙や貼り絵、行事の写真などを飾って、明るい雰囲気になるようにしている テレビ・ラジオの音量や室温にも配慮し快適に過ごせるようにしている</p>	<p>ホームの周囲は芝生で、デッキがある。アーチ型の窓からの柔らかな採光が差し込み、和室の団らんの部屋は利用者の人気の場所である。換気や温度に配慮が行き届き、落ち着いたある居心地の良い家庭的な共用空間である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールにはソファを置いて誰でも寛げるようにしている 中庭にはベンチを置き、思い思いに過ごせるようにしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族と相談し、利用者が落ち着いて暮らせるよう家具の位置など配慮している。入居前の馴染みがあるものを持ってきていただき心地よく過ごせる工夫をしている</p>	<p>ダンス・こたつ・椅子・家族写真・シルバーカー・カーペット・寝具など、馴染みの物が持ち込まれている。また、夫婦の合部屋もあり、居室入口の表示も工夫されて、それぞれ个性的で居心地の良い居室作りである。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室の表札も個々に応じわかりやすく表示している 居室外には手すりが多く設置してあり。シルバーカーを使用する方のためにテーブルの配置など工夫をしている</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない